

〔平成21年8月6日（木）〕

美しい森林づくりニュース 〈NO. 143〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～



発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel : 03-3502-8111 (内線6216) 03-3501-3845 (直通) Fax : 03-3502-2887

ご意見、ご質問は → <https://www.contact.maff.go.jp/rinya/form/5dd6.html>

バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ 京のゆめ 緑といっしょに ひろげよう

－ 「第20回緑の少年団全国大会」の開催 －

7月29日(水)～7月31日(金)、「第20回緑の少年団全国大会」が京都府京都市ほかにおいて開催されました。

(記念式典)

初日の式典では、全国から集まった緑の少年団の入場行進、大会会長である山田啓二京都府知事の主催者挨拶、島田林野庁長官から励ましの言葉があり、「みどりの奨励賞」の表彰や活動発表が行われました。

島田長官は、全国の緑の少年団の団員が、森林を守り育てる活動や緑の募金活動など、「美しい森林づくり」につながる取組をしていることに対してお礼を述べるとともに、いろいろな体験を楽しみ多くの友達をつくり、その体験をもとに今後の活動に役立てて欲しいと激励しました。

(体験活動・発表会)

2日目は、10班が県内4カ所に分かれ、【人と自然の関わり】【人と森林の関わり】【原生林と人・野生生物のつながり】【伝説と歴史と自然の恵みにふれあう】をテーマとする体験活動に臨みました（3日目に体験活動発表会を実施）。

宇治茶の本場でのお茶文化の体験や柿渋染体験、約600年の歴史を持つと言われる北山林業の体験、西日本屈指のブナ原生林である



京都府大野みどりの少年団、鶴ヶ岡緑の少年団



励ましの言葉を述べる島田林野庁長官



平成21年度「みどりの奨励賞」受賞団

由良川源流域の散策、日本三景「天橋立」、鬼伝説の大江山などの自然や歴史・伝統文化に触れるなど、緑の少年団同士が楽しみながら活発な交流が図られるプログラムが展開されました。



北山杉の伐採体験



北山杉の磨き体験



片波源流域での自然観察（台スギ）

来年の「第21回緑の少年団全国大会」は青森県内で開催予定です。

◎ 水をはぐくむ森林を守り育てよう

－「水源の森百選」保全・整備活動コンクールの実施－

「森林と水」の普及啓発事業実行委員会[※]は、森林の水源かん養機能の普及啓発を図るため、「水源の森百選」（平成7年度林野庁選定）で行われている保全・整備活動についてコンクールを実施しました。

※「森林と水」の普及啓発事業実行委員会

○構成団体

(社)日本治山治水協会、全国森林組合連合会、(社)日本森林技術協会、

(社)海外林業コンサルタント協会、(社)全国森林土木建設業協会、(社)日本林業土木連合協会

コンクールは、都道府県から推薦された24団体について、有識者からなる審査委員会による選考が行われ、林野庁長官賞1、審査委員長賞1、審査委員会特別賞3が決定しました。次に受賞者の取組についてご紹介します。

(林野庁長官賞)

「NPO法人 穂の国森づくりの会」（愛知県豊橋市、「愛知県民の森」）

かつて穂の国と呼ばれた東三河の森林の保全、再生等を通じて環境型地域社会の実現を図ることを目的に、市民の森林作業体験や会員による森林整備活動、小学校への環境教育活動、企業の森づくりの支援等多岐にわたる活動を行っています。

「愛知県民の森」では、平成16年度から除伐や広葉樹の植栽などの森林整備活動、小学生を対象とした森林観察会や丸太切り体験等を実施しています。

多様な活動を専門家の助言も受けながら活発に展開していること、ホームページや機関誌の発行等情報発信にも積極的であること、また、上下流一体の流域単位の取組であることなど総合的に優れていることが評価されました。



上：森林教室、下：広葉樹の植栽

(審査委員長賞)

「^{おくすそぼな}鬼無里ブナの森を育てる会」(長野県長野市、「奥裾花」)

平成7年に奥裾花で発生した地すべり災害によって失われたブナの森の復元を目指して、平成17年から毎年、ブナ等の植樹のほか清掃活動や自然観察会を実施しています。

地域住民が中心となった継続した活動であること、種から育てたブナの苗木の植樹などを通じて効果的に森林の重要性の普及を行っていること、新聞による公募者や修学旅行など広範な者の参加が地域の活性化にも貢献していることなどが評価されました。



記念植樹の様相

(審査委員会特別賞)

「NPO法人 森林遊びサポートセンター」

(北海道札幌市、「奥定山溪国有林水源の森」)

森林を守り育てる活動や自然とのふれあいを通じて、自然環境保全に関する市民意識の高揚を図ることを目的に、下刈や倒木跡地の再生活動、学校森林環境教育に積極的に取り組んでいます。

「奥定山溪国有林水源の森」で、植付や下刈を継続して行っていること、会報の発行やシンポジウム、ホームページなどで広く森林の重要性をPRしていることなどが評価されました。



倒木跡地の再生活動

「与保呂生産森林組合」(京都府舞鶴市、「与保呂水源の森」)

地元住民による「与保呂水源林に実のなる木を植えよう」の活動を積極的に展開し、地域外からの参加者も含め市民参加による森林整備を行っています。

長年の森林整備により水土保持機能の向上が図られていること、多くの参加者を受け入れて実施し水源林への理解を深めていることなどが評価されました。



実のなる木の植樹

「船戸総地区」(高知県高岡郡津野町、「四万十川源流の森」)

四万十川の環境保全と整備を目的に、「四万十川源流の森」において、遊歩道の整備、森林整備(下刈、植樹、間伐)、源流点体験ツアーや環境教育講座を実施しています。

活動が地域ぐるみで様々な取組を継続していること、取組が地域の活性化にも貢献していることなどが評価されました。



巣箱の設置

◎ 美しい森林づくり、フォレスト・サポーターズについて、テレビで放映！

美しい森林づくり推進国民運動やフォレスト・サポーターズについてテレビで紹介されました。

『キク！みる！』（7月31日フジテレビで放送）では、「美しい森林づくり」をテーマに美しい森林づくり全国推進会議の構成団体である森を育む紙製缶飲料容器普及協議会の協力の下、間伐材などの国産材を積極的に利用している紙製の飲料容器「カートカン」について紹介しました。

『新ニッポン探検隊！』（8月2日日本テレビ系で放送）では、「探検！あなたもフォレスト・サポーターズ」をテーマに、同じく全国推進会議の構成団体である財団法人休暇村協会の協力の下、日本テレビ藤井恒久アナウンサーが静岡県富士宮市にある「休暇村富士」に宿泊し、田貫湖周辺で「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」の4つのアクションに挑戦する様子が放映されました。



※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>